

高砂市立鹿島中学校野球部

鹿島中野球部の歴史



鹿島中学校は、第14回の夏の全国大会で見事に優勝を遂げた。その時のキャプテンは現在阪神タイガースで捕手として活躍している「鶴岡一成」選手である。神戸の神港学園に進学後、横浜ベイスターズに入団し、その後同じ高砂市出身の真田投手との1対1のトレードで巨人に入団したが、古巣の横浜 DeNA に戻り、再度奈良県橿原市の八木中出身の久保選手とのトレードで阪神の選手となった。彼の中学時代の監督は、惜しくも47歳の若さで病気で亡くなられた中上雅文先生で、私の大学時代のクラブの同級生で友人である。当時の部長先生は現在荒井中の藤原寛文先生である。

優勝旗は1993年8月、奈良の鴻の池球場で行われた全国大会で返還された。左上は全国大会の奈良県実行委員会から手渡されたレプリカである。上の写真の右下はいつも解説で来られていた元巨人監督の川上哲治氏の「努力」の色紙である。今の鹿島中学校は、中上先生と高砂市立松陽中学校と一緒に顧問をされていた久下先生で、中上監督が不在の時に鶴岡選手に練習内容などを伝えていた藤原部長先生(優勝当時)は、現在は荒井中学校の顧問をされている。



鹿島中学校の正門と優勝記念に植えられた月桂樹の木